



東京理科大学
TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE

RIST TUS
Research Institute for Science & Technology

第9回 総合研究院アカデミー

兼「ウォーターサイエンス特論」
「化学特別講義B」

日時

2024年10月29日(火)
16:20～17:50

場所

東京理科大学
神楽坂キャンパス
1号館17階記念講堂
(オンラインで同時配信)

総合研究院主催のアカデミー、第9回目は、東北大学教授・光科学イノベーションセンター理事長の高田昌樹先生によるご講演です。高田先生は構造科学の最先端を走り続けている研究者であり、特に、高輝度放射光X線を用いたX線回折実験にマキシマムエントロピー法という解析手法を組み合わせることで、物質中の電子密度分布や静電ポテンシャルを精密にマッピングすることに世界で初めて成功されました。

ご自身の優れたご研究に留まらず、大型放射光施設SPring-8での運営実績をもとに、東北大学敷地内での新たな3 GeV高輝度放射光施設Nano Terasu (ナノテラス) の設立を先導され、わが国や世界のサイエンスを革新する新たな産学官連携の形を創られています。本講演では、学生諸君向けに、豊富な経験に基づいた社会での生き方、楽しみ方に関するお話も盛り込んでいただきます。学生諸君、教職員の皆様、奮ってご参加ください。
(総合研究院長 西原 寛)

演題

イノベーションのためのコミュニティが集う場所、
Nano Terasu (ナノテラス) とは？

講演者

東北大学
国際放射光イノベーション・スマート研究センター 教授
一般財団法人 光科学イノベーションセンター 理事長
高田 昌樹 先生



概要

NanoTerasu (ナノテラス) とは、東北大学青葉山新キャンパス内に建設された“巨大な顕微鏡”と言われている施設である。国による共用が来年3月から始まるのに先立ち、今年4月から、150に上る企業、10の大学・国立研究所が利用を始めた。
使うのは、放射光と呼ばれる太陽の10億倍の明るさの光 (X線)。次世代の電池、半導体、食品、バイオ等の幅広い分野で、“ナノ”の世界を“照らし”、脱炭素や気候変動といった社会課題の解決や、モノづくりに取り組む。そこでは、コアリション (有志連合) という、ユニークな産官学金地域の共創が、様々なコミュニティを巻き込んで始まろうとしている。
イノベーションの新たな景色を創りつつあるナノテラスについて講演する。

参加ご希望の方は、以下の申し込みフォームをご記入ください



https://tus.qualtrics.com/jfe/form/SV_bvalciAzasbitlY

当日の飛び入りも歓迎します

担当 / 東京理科大学 野田研究推進課 富田
rist-jimukyoku@admin.tus.ac.jp